

環境経営レポート

あつめる。ぜんぶ。その先まで。



大和市リサイクル事業協同組合

2026年6月1日

(2025年4月1日～2026年3月31日)

目 次

① 組合の概要	P. 3～6
② 対象範囲	P. 7
③ 環境経営方針	P. 8
④ 環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績	
⑤ 環境経営計画(内容)	P. 9～14
⑦ 環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容	
2025年度 活動トピックス	P. 15～16
⑧ 訴訟等の有無及び環境関連法規への違反	P. 17
⑨ 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果	P. 18

①組合の概要

名 称	大和市リサイクル事業協同組合	
住 所	神奈川県大和市柳橋 5-13-9	
代 表 者	代表理事 小俣 一之	
環境管理責任者 及び担当者	小野寺 明子 046-269-9905(柳橋エコセンター)	
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日	
出 資 金	182,600,000 円(令和 7 年度末)	
売 上 高	746,343,765 円(令和 7 年度末)	
延べ床面積	844.11 ㎡	
事業所及び 理事・従業員内訳 (令和 8 年 5 月現在)	理事 5 名(代表理事 1 名・副理事長 1 名・専務理事 1 名・理事 2 名)	
	柳 橋 エコセンター	社員 6 名 パート従業員 2 名
	大 和 市 資 源 選 別 所	社員 16 名 パート従業員 5 名
	直接搬入ごみ受入施設	社員 2 名 パート従業員 2 名
	合計 38 名(理事 5 名 社員 24 名 パート従業員 9 名)	
設 立 主 旨	<p>家庭から排出される廃棄物は、生活様式の変化向上や増加等によって、量の増大と質の変化をもたらしました。この為近年の急激なごみの増大は、自治体の廃棄物処理事業に多大な影響を与えています。</p> <p>こうした中、大和市においても「分けて分別・ごみ減量」の標語のもと、各家庭からのごみの減量化再利用を積極的に推進しています。また、我々資源回収業者も、市、住民(自治会、町内会)と一体となった資源分別回収事業を実施、現在では地域住民に定着しております。</p> <p>しかしながら、今後益々増大するであろう資源回収に係わる事業に対し、合理的な回収と効率的な管理システムが不可欠となってまいります。この為、我々全体の力を結集させる為、中小企業等協同組合法に基づく協同組合を設立し、協同回収事業及び共同購買事業を行う事を計画いたしました。</p>	
業 種	再生資源卸売業	

<一般廃棄物処理業許可証>

許可取得年月日	令和8年3月17日		
許可内容	期限	業の種類	許可番号
	令和10年3月31日	一般廃棄物収集・運搬	第111号
営業許可期間	令和8年4月1日から令和10年3月31日		
登録車両	車両形式	台数	最大積載量(kg)
	2トントラック	27台	2,000kg
	3トントラック	4台	3,000kg
収集運搬処分の区分	収集運搬		
処理実績	令和7年度は受託した産業廃棄物の実績はない		

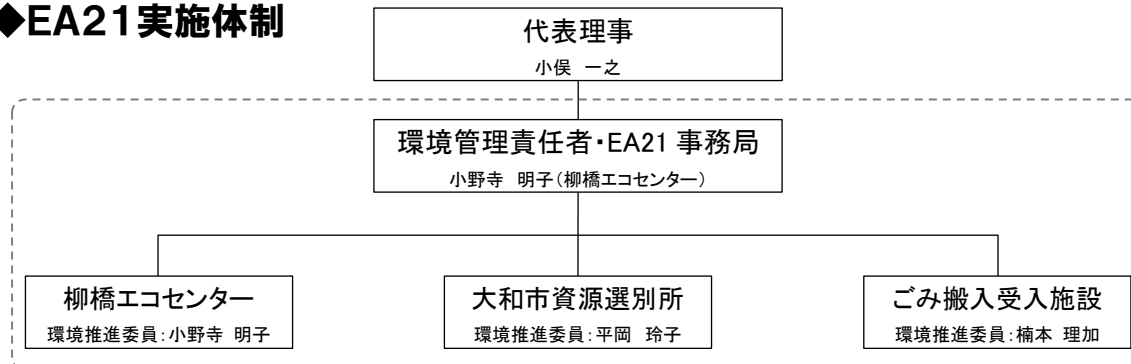
<事業用自動車>

登録車両	車両形式	台数
	パッカー車	9台
	軽トラック	2台

<事業の規模>

活動規模	単位	2025年度
処理量	t	11,882,350
売上高	百万円	746
従業員	人	33
床面積	m ²	844.11

◆EA21実施体制



職 名	役 割
代表理事	① 環境管理責任者の任命を行い、必要な権限を与える ② 環境経営方針を制定し、定期的に見直しを行い指示する ③ 環境経営システムを構築し、運用するために必要な経営資源の提供 ④ 経営における課題とチャンスの明確化 ⑤ 代表者による見直し
環境管理責任者	① 環境経営システムを構築し、運営する ② 環境経営システムの運用状況を代表者に報告する ③ 環境課題に対する審議内容を代表者に報告する ④ 環境側面及びその量的把握、環境負荷データ管理の統括 ⑤ 環境安全についての従業員の啓発、教育研修実施
環境推進委員	① 環境経営計画の推進、関連法規の調査、適応法規の評価登録 ② 遵守状況の把握及び委員会の運用維持に関する審議決定 ③ 各部における環境活動の推進 ④ 各職場における環境経営計画の推進
EA21 事務局	① 環境経営目標、環境経営計画における決定事項を全従業員に徹底して周知する ② 文章記録の保管

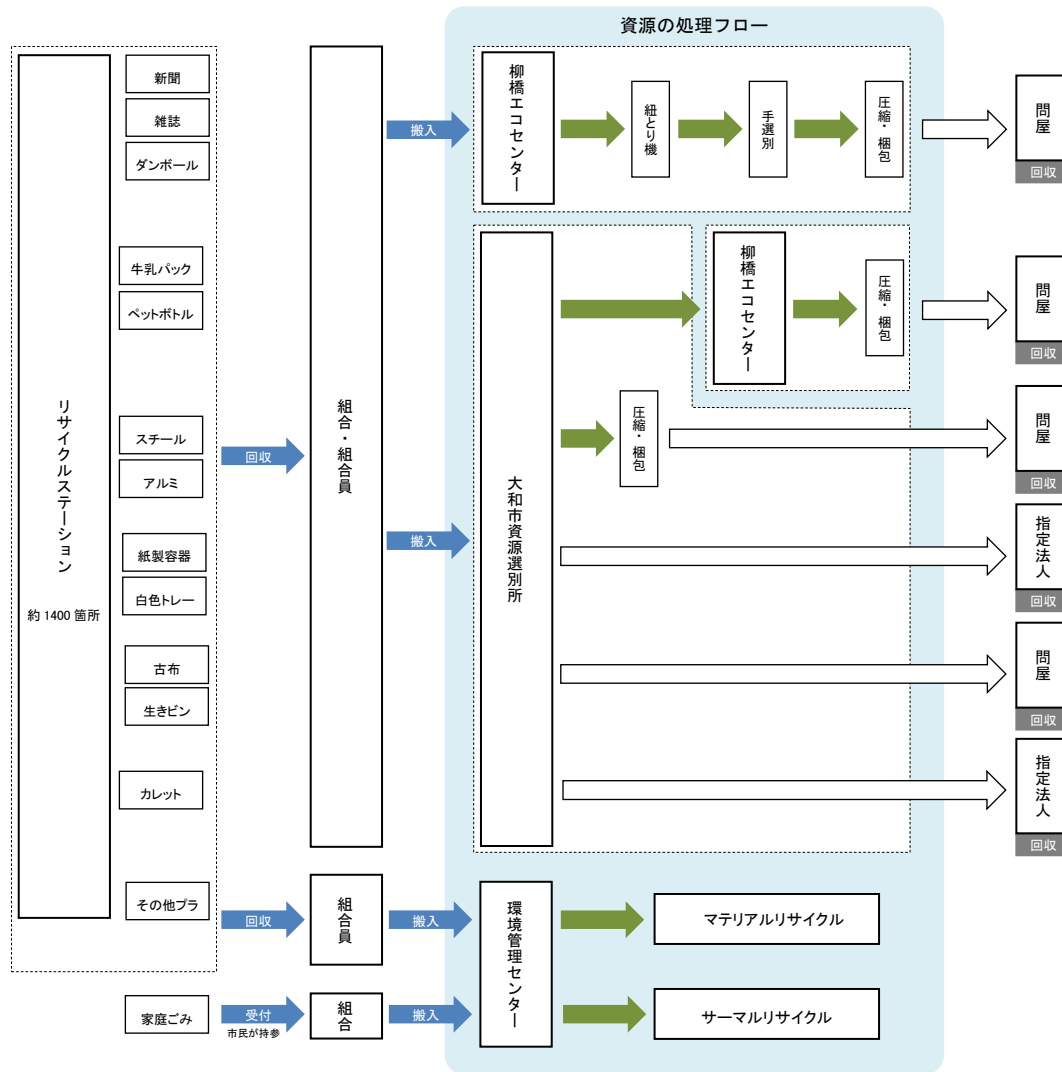
◆事業施設及び事業内容及び品目

柳橋エコセンター
大和市一般家庭及び事業所より発生する資源の集積加工業務 新聞 雑誌 布類 シュレッダー ダンボール
事業系古紙 新聞 雑誌 コピー用紙 パンフレット カタログ 禁忌品以外の普通紙 禁忌品以外のシュレッダー ダンボール

大和市資源選別所
大和市一般家庭より発生する資源の収集加工業務 ペットボトル 新聞 雑誌 布類 ダンボール 植物性廃食用油 たい肥 アルミ缶 スチール ビン 白色トレー 紙パック

ごみ搬入受入施設
大和市在住者の家庭より発生したゴミの受入業務 (処理手数料10kgごとに200円)

◆処理施設<処理品目・処理方式・処理工程図>



〔エコセンター〕

- ・プレス機 (処理品目:新聞・雑誌・牛乳パック・段ボール)

株式会社昭和 省エネ油圧ジャンボプレス機 SW770型 HE×1台

処理量 段ボール約14t/h 新聞・雑誌18t/h

〔資源選別所〕

- ・プレス機 (処理品目:スチール缶・アルミ缶)

株式会社北町機械 CPI25050-11×1台

処理量 20/h ブロック

- ・コンベア (処理品目:カレット/色付きピン・透明ビン)

株式会社テクノリンクス 500W-3M

②対象範囲

認証・登録の範囲：全事業をエコアクション21活動の対象とする。

対象事業所:柳橋エコセンター

〒242-0022神奈川県大和市柳橋5-13-9

ただし、以下の事業所でもエコアクション21の活動を行う。

大和市資源選別所

〒242-0029神奈川県大和市上草柳563-11

ごみ搬入受入施設

〒242-0026神奈川県大和市草柳3-12-1

事業内容

共同施設の設置並びに管理運営、資源にかかわる業務の共同受注、資源の共同加工及び販売、資材及び消耗品の共同購入、組合員に対する教育及び情報の提供、組合員の福利厚生に関する事業

③ 環境経営方針

基本理念

当組合は、「地球の資源と環境を守る」をモットーに、リサイクルが市民生活の一部となるよう、大和市の資源分別回収業務を主な業務として、地域の様々なリサイクル活動に協力し、廃棄物を抑制するとともに、資源の再利用を促進する循環型社会の構築を目指します。

行動指針

当組合は、基本理念の実現を目指し、環境に関連する法規制及び周辺地域の環境条例、その他事業活動にあたって遵守しなければならない規制を守り、環境経営目標の設定と評価、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、下記のことを行動指針とします。

- (1) 資源分別回収における啓発活動によって、資源の回収量を増やし、ごみ減量化及び資源化推進に取り組めます。
- (2) 地域と地球環境保全のため、節電、省エネ運転、廃棄物の減量、節水に努めます。
- (3) 組合で利用・消費する物品については、環境に配慮した製品を優先的に購入します。
- (4) 当組合の組合員及び全職員に環境経営方針を周知し、環境保全の意識を高めるよう努力します。
- (5) 環境経営方針は一般の方にも公開します。

改定日 2021年10月12日
大和市リサイクル事業協同組合
理事長 小俣 一之

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

No.	区分	基準年度 2024年度	前年度実績 2024年度	年度目標		年度実績		評価	中期目標 2026年度まで
				2025年度					
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	45,223	45,223	45,223	43,280	○	45,223		
			上半期	22,611	22,611	21,640			○
			下半期	22,611	22,611	21,640			○
2	電気使用量の削減 (kWh)	77,787	77,787	77,787	70,533	○	77,787		
			上半期	39,809	38,894	33,790			○
			下半期	37,978	38,894	36,743			○
3	燃料(ガソリン)の削減 (ℓ)	146	146	146	519	×	146		
			上半期	65.0	73	76.5			×
			下半期	80.7	73	442.4			×
4	燃料(軽油)の削減 (ℓ) *構内使用量重機の燃料削減	5,068	5,068	5,068	4,776	○	5,068		
			上半期	2,536.0	2,534	2,516.0			○
			下半期	2,531.6	2,534	2,260.0			○
5	廃棄物排出量の削減 (kg)	95.7	95.7	95.7	87.5	○	95.7		
			上半期	45.3	48	40.7			○
			下半期	50.4	48	46.8			○
6	水道量の削減 (m ³)	173	173	173	116	○	173		
			上半期	92	87	62			○
			下半期	81	87	54			○
7	紙使用量の削減 (枚)	28,860	28,860	28,860	28,128	○	28,860		
			上半期	17,460	14,430	16,480			×
			下半期	11,400	14,430	11,648			○
8	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買		

基準年度を継続もしくは上回らない

- ① 購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2024年度 東京電力エナジーパートナー㈱の排出係数0.408(kg-CO2/kWh)を使用し、算出した。化学物質の使用はありません。
- ② 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。
- ③ 廃棄物排出量については、自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。
- ④ 年度実績の評価は、前年度実績の維持継続か、上回らないようにする。
○:前年度実績より減 △:前年度実績継続(現状維持) ×:前年度実績より増
- ⑤ 中期目標は、基準年度2024年度から3年継続した結果をもとに、2027年に見直しをする。

<未達成理由・是正措置>

区分	未達成理由	是正措置
燃料 (ガソリン)	小俣理事長が公務で使用することになったため	自動車の環境性能を活用した運転
		朝礼やミーティングでエコドライブに関するテーマを取り上げる

⑤環境経営計画（取組内容）

⑦環境活動の取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容

No.	区分	取組内容	取組の責任者	実施	次年度の取組
①	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定は適切に実施する ・熱中症対策は、スポットクーラーや空調服の活用する ・機械設備の日常点検、整備を怠らず、毎日の清掃により省エネを推進 	小野寺	○	継続
②	燃料(ガソリン)の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車運転時の適切なコース設定 ・アイドリングストップなど、環境性能を活かしたエコドライブ運転を心がける ・リモートやメールを活用する。 	小野寺	○	継続
③	燃料(軽油)の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを減らす、エコドライブの実施 ・タイヤの空気圧やエレメントの適切な交換など車両整備の徹底 ・毎月のミーティングでエコドライブや運転技術向上のための意見交換を実施 	渡辺	○	継続
④	廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らし、資源化への分別徹底 ・使い捨て製品を極力抑え、マイボトルやマイ箸を使用する ・毎月のミーティングで環境管理責任者より廃棄物削減のアドバイスを提示 	小野寺	○	継続
⑤	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・構内清掃時の水使用は節水を心掛ける ・節水に関しての各人の取り組みをミーティング等で確認する 	小野寺	○	継続
⑥	紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の会議やミーティングでは紙資料を減らし、プロジェクターを活用 ・両面コピー、2in1、4in1を活用し、プリントアウトを極力減らす ・サーバー上での確認など、プリントアウトせずに共有ファイルを閲覧する 	小野寺(坂本)	○	継続
⑦	グリーンマーク利用	<ul style="list-style-type: none"> ・購入の際は、グリーン商品を優先して利用 ・文具や消耗品は詰め替え商品を利用する ・使い捨て製品は購入を控え、サステナブル製品の購入を検討する 	小野寺(坂本)	○	継続
⑧	資源回収啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の大和市民まつり、11月のやまと産業フェアに出展し、古本市の開催等で廃棄物削減、資源化推進への啓発活動を実施する ・組合ホームページやその他外部とのツールで積極的な情報発信に努める 	小野寺	○	継続

〔その他実施した主な取組〕

- ・使い捨て消耗品の使用中止、照明の適宜利用、朝礼等で目標管理の周知徹底
- ・フロン類第一種特定製品(業務用エアコン、スポットクーラー)簡易点検を定期的実施(下記)

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表（四半期に1回以上） (2025年度)		2025年				2026年			
点検項目		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
室外機	①異音・振動	有	無	有	無	有	無	有	無
	②油等のじみ、汚れ	有	無	有	無	有	無	有	無
	③大きな錆・破損	有	無	有	無	有	無	有	無
	④その他	有	無	有	無	有	無	有	無
室内機	⑤異音・振動	有	無	有	無	有	無	有	無
	⑥冷媒圧の調整ができない	有	無	有	無	有	無	有	無
	⑦その他	有	無	有	無	有	無	有	無
	異常があった機器と状況								
対策内容と終了日		全て異常なし	全て異常なし	全て異常なし	全て異常なし				
点検者		小野寺	小野寺	小野寺	小野寺				
点検日		4月28日	7月28日	10月28日	1月28日				

エコセンター 対象機器
対象機器 ★エアコン：5台（1台は通常エアコン）

★室外機：5台

F：台貫機
G：休憩室窓側①
H：休憩室窓側②
I：休憩室窓側③
J：休憩室窓側④（通常エアコン用室外機）

室外機 配管図

改正フロン法：スポットクーラー 簡易点検表（四半期に1回以上） (2025年度)		2025年				2026年			
点検項目		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
①	本体熱交換機器の損傷・油にじみ・腐食	有	無	有	無	有	無	有	無
②	本体の傷・錆	有	無	有	無	有	無	有	無
③	本体熱交換機器の霜つき	有	無	有	無	有	無	有	無
④	本体運転時の異常振動・異常運転音	有	無	有	無	有	無	有	無
異常があった機器と状況									
対策内容と終了日			全て異常なし						
点検者			渡辺、小野寺						
点検日		レンタル無	7月28日	レンタル無	レンタル無				

エコセンター 対象機器
・スポットクーラー3台
(基本配置)
・選別ライン 3台

[大和市資源選別所]

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

No.	区分	基準年度 2024年度	前年度実績 2024年度	年度目標		年度実績		評価	中期目標 2026年度まで	
				2025年度						
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	128,341	128,341	128,341		95,267		○	128,341	
			上半期	64,170	上半期	64,170	上半期	47,633		○
			下半期	64,170	下半期	64,170	下半期	47,633		○
2	電気使用量の削減 (kWh)	687	687	687		714		×	687	
			上半期	341	上半期	343	上半期	342		○
			下半期	346	下半期	343	下半期	372		×
3	燃料(ガソリン)の削減 (ℓ)	2,362	2,362	2,362		2,184		○	2,362	
			上半期	1,294.7	上半期	1,181.0	上半期	1,261.0		×
			下半期	1,067.4	下半期	1,181.0	下半期	922.0		○
4	燃料(軽油)の削減 (ℓ) *構内使用量重機の燃料削減	47,512	47,512	47,512		34,845		○	47,512	
			上半期	24,678.5	上半期	23,756	上半期	18,556.6		○
			下半期	22,833.2	下半期	23,756	下半期	16,288.2		○
5	廃棄物排出量の削減 (kg)	61.7	61.7	61.7		70.3		×	61.7	
			上半期	29.7	上半期	31	上半期	30.3		○
			下半期	32.0	下半期	31	下半期	40.0		×
6	紙使用量の削減 (枚)	49,785	49,785	49,785		50,388		×	49,785	
			上半期	26,847	上半期	24,892	上半期	26,475		×
			下半期	22,938	下半期	24,892	下半期	23,913		○
7	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買		重視購買		○	重視購買	

基準年度を継続もしくは上回らない

- ① 購入電力の二酸化炭素の排出係数は、2024年度 東京電力エナジーパートナー㈱の排出係数0.408(kg-CO2/kWh)を使用し、算出した。化学物質の使用はありません。
- ② 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。
- ③ 廃棄物排出量については、自社での焼却処理は行っていないが、廃棄物量削減の取組みとして目標を立て、達成する努力を行う。
- ④ 年度実績の評価は、前年度実績の維持継続か、上回らないようにする。
○: 前年度実績より減 △: 前年度実績継続(現状維持) ×: 前年度実績より増
- ⑤ 中期目標は、基準年度2024年度から3年継続した結果をもとに、2027年に見直しをする。

⑤環境経営計画（取組内容）

⑦環境活動の取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容

No.	区分	取組内容	取組の責任者	実施	次年度の取組
①	電気使用量の削減	・エアコンの温度設定は適切に実施する ・スポットクーラーや空調服の活用 ・照明のこまめなON/OFF ・OA 製品や電化製品はセーブモードを活用する	新川	○	継続
②	燃料(ガソリン)の削減	・公用車運転時の適切なコース設定 ・アイドリングストップなどエコドライブの実施 ・リモートやメールを活用する	新川	○	継続
③	燃料(軽油)の削減	・急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを減らす、エコドライブの実施 ・タイヤの空気圧やエレメントの適切な交換など車両整備の徹底 ・毎月のミーティングでエコドライブや運転技術向上のための意見交換を実施	樋口	○	継続
④	廃棄物排出量の削減	・ごみを減らし、資源化への分別徹底 ・割りばしなど使い捨て製品の削減努力 ・毎月のミーティングで環境管理責任者より廃棄物削減のアドバイスを提示	新川	○	継続
⑤	水使用量の削減	・構内清掃時の水使用は節水を心掛ける ・節水に関しての各人の取り組みをミーティング等で確認する	平岡	○	継続
⑥	紙使用量の削減	・定例の会議やミーティングでは紙資料を減らし、プロジェクターを活用 ・両面コピー、2in1、4in1 を活用し、プリントアウトを極力減らす ・サーバー上での確認など、プリントアウトせずに共有ファイルを閲覧する	平岡	○	継続
⑦	グリーンマーク利用	・購入の際は、グリーン商品を優先して利用 ・文具や消耗品は詰め替え商品を利用する ・使い捨て製品は購入を控え、サステナブル製品の購入を検討する	平岡	○	継続
⑧	資源回収啓発活動	・選別所持込、拠点回収や、5月の大和市民まつり、11月のやまと産業フェアのイベント等での市民との交流の場を活用し、廃棄物削減、資源化推進を啓発する	新川	○	継続

※資源選別所の水使用量については大和市役所が管理しており、こちらでは使用量の把握ができないため目標設定せずに、節水の取組に努めている。

〔その他実施した主な取組〕

- ・プレス機器類の清掃や効率的稼働の推進
- ・パッカー車両の駆動系の早朝メンテナンスの実施
- ・パッカー車の燃費向上に寄与するミックスタイヤの使用
- ・フォークリフトの日常メンテナンスの講習実施
- ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的に実施

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表(四半期に1回以上)
(2025年度)

点検項目	2025年				2026年			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
点検実施	○	○	○	○	○	○	○	○
点検結果	○	○	○	○	○	○	○	○
異常があった機器と状況								
対策内容と終了日								
点検者	2025/4/22	2025/7/18	2025/11/18	2026/1/29				
点検日	半端	半端	半端	半端				

資源選別所 対象機器
・業務用エアコン(4~6F)
・エアコン(8~10F)
・室外機(4~6F)

点検項目
① 圧力確認
② 油圧確認
③ 圧力調整
④ 圧力調整

結果
○ 正常
△ 異常
× 異常

改正フロン法：スポットクーラー 簡易点検表(四半期に1回以上)
(2025年度)

点検項目	2025年				2026年			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
① 本体部交換機器の清掃・油にしみ・腐食	有	有	有	有	有	有	有	有
② 本体部交換機器の清掃	有	有	有	有	有	有	有	有
③ 本体部交換機器の点検	有	有	有	有	有	有	有	有
④ 本体部交換機器の異常発生・異常発生	有	有	有	有	有	有	有	有
異常があった機器と状況								
対策内容と終了日								
点検者	2025/7/23	2025/10/27						
点検日	半端	半端						

資源選別所 対象機器
・スポットクーラー9台

〔基本配置〕
・赤色機材 1台
・白色機材 1台
・ブルー機材 1台
・オレンジ機材 1台
・黒色機材 2台
・アルミ機材 1台
・カセット作業 2台

[ごみ搬入受入施設]

④環境経営目標 ⑥環境経営目標の実績

No.	区分	基準年度 2024年度	前年度実績 2024年度	年度目標		年度実績		評価	中期目標 2026年度まで		
				2025年度							
1	紙使用量の削減 (枚)	5,580	5,580		5,580		5,171		○	5,580	
			上半期	3,960	上半期	2,790	上半期	2,267			○
			下半期	1,620	下半期	2,790	下半期	2,904			×
2	グリーンマーク利用	重視購買	重視購買	重視購買	重視購買	重視購買	重視購買	○	重視購買		

基準年度を継続もしくは上回ら

- ① 年度目標の上半期・下半期の目標値は、年度目標値の1/2とした。
- ② データを把握することができる「紙使用量の削減」のみ、数値目標を設定する。「廃棄物削減」は環境活動の取り組みを実施
- ③ 年度実績の評価は、前年度実績の維持継続か、上回らないようにする。
○：前年度実績より減 △：前年度実績継続（現状維持） ×：前年度実績より増
- ⑤ 中期目標は、基準年度2024年度から3年継続した結果をもとに、2027年に見直しをする。

⑤環境経営計画（取組内容）

⑦環境活動取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容

No.	区分	取組内容	取組の責任者	実施	次年度の取組
①	廃棄物排出量の削減	・廃棄物削減を心掛け、資源化の分別を推進 ・わりばし等使い捨て商品は使用しない	細谷	○	継続
②	紙使用量の削減	・両面コピー、2in1、4in1を活用し、プリントアウトを極力減らす ・メモなどは裏紙を活用する	楠本	○	継続
③	グリーンマーク利用	・購入の際は、グリーン商品を利用する ・文具や消耗品は詰め替え商品を利用する ・使い捨て製品は購入を控え、サステナブル製品の購入を検討する	楠本 (小野寺)	○	継続

※受入施設の電気使用量・水使用量については大和市役所が管理しており、こちらでは使用量の把握ができないため目標設定せず、節電・節水の取組に努めている。

〔その他実施した主な取組〕

- ・来客状況に合わせた室内灯および空調使用の制限
- ・省エネ対策として、蛍光灯の間引き実施
- ・フロン類第一種特定製品簡易点検を定期的を実施

改正フロン法：業務用エアコン 簡易点検表（四半期に1回以上） (2025年度)					
点検項目	2025年		2026年		異常があった機器と状況
	4月	7月	10月	1月	
①異音・振動	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
②油等のにじみ・流れ	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
③大きな錆・破損	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
④その他	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
⑤異音・振動	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
⑥冷媒量の調整ができない	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
⑦その他	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
対策内容と終了日					
点検者	細谷	楠本	細谷	楠本	
点検日	2025/4/28	2025/7/29	2025/10/27	2026/1/26	

受入施設 対象機器

対象機器 ★エアコン：1台（通常エアコン）
事務スペース
★室外機：1台
入口横

改正フロン法：スポットクーラー 簡易点検表（四半期に1回以上） (2025年度)					
点検項目	2025年		2026年		異常があった機器と状況
	4月	7月	10月	1月	
① 本体熱交換機部の損傷・油にじみ・腐食	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
② 本体の錆・錆	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
③ 本体熱交換機部の霜つき	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
④ 本体運転時の異常振動・異常運転音	有(○)	有(○)	有(○)	有(○)	
対策内容と終了日					
点検者	細谷	楠本	細谷	楠本	
点検日	2025/4/28	2025/7/29	2025/10/27	2026/1/26	

受入施設 対象機器

・スポットクーラー2台
〔基本配置〕
・作業場 2台
※2台のうち1台は夏季レンタル品

2025年度活動トピックス

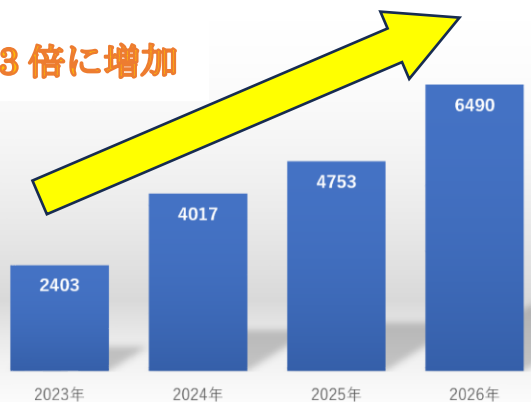
① 古本市の取り組みが市民に浸透 古本リユースが約3倍に



◆私たちは、毎年大和市で開催しているイベントである、5月の大和市民まつり、11月のやまと産業フェアで、古本市を開催しております。資源として回収した良品の古本を大和市民の皆さんへリユースし、市民の皆さまとともに、資源循環に取り組んでおります。

◆古本市での売り上げ冊数が、大和市民まつりにおいては、コロナ禍前の状況にイベントが再開された2023年以降、2025年度で約2倍、最新の2026年で約3倍に増加しており、大和市民の皆さま一人ひとりの意識の高さを感じるとともに、私たちの取り組みが浸透し、理解されていることを実感しております。

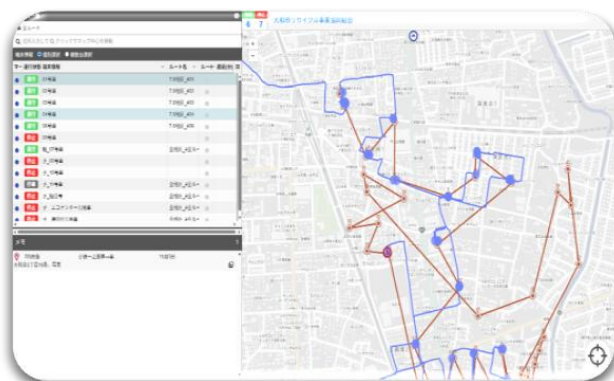
3倍に増加



◆古本市での売り上げは、組合オリジナルトイレットロールを製作し、大和市、大和市社会福祉協議会、大和商工会議所等へ毎年寄贈しております。この取り組みも長年継続しており、大和市民の皆さまから回収した資源がトイレットロールとして、また市民の皆さまへ戻っており、循環型社会構築の一環となっております。

② 資源回収のDX化(動態管理)により、業務効率化を実現

◆資源回収業務の効率化を推進するため、容器包装プラ回収車両に車載器を搭載し、DX化(動態管理)を導入しました。
リアルタイムで車両の状況を把握できるため、事務側もドライバーも電話での確認をする必要が無く、業務効率化が実現しました。



◆大和市内に約1,300か所あるリサイクルステーションに、何時何分に到着し、回収を終えたかを確認することができ、回収漏れを防ぎ、市民の皆さまからの問い合わせにも正確に回答することができております。

③ 組合キャッチコピー制定 あつめる。ぜんぶ。その先まで。



◆2025年度より、私たち組合の課題である世代交代と求心力の向上を目的とした委員会活動を発足し、新しい組合キャッチコピーを制定しました。
キャッチコピーは名刺やホームページなどの媒体や宣伝ツール、回収車両への表記を検討しております。

⑧訴訟等の有無及び環境関連法規への違反

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去5年間ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

文書④⑬環境関連法規等のとりまとめと遵守状況

最新である事の確認	2026年4月1日 氏名 小野寺 明子
-----------	------------------------

適用となる主な環境関連法規

番号	法規等の名称	適用対象場所	適用対象物	届出	管理	確認結果		違法性確認実施年月日
						組合	組合員	確認
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	柳橋エコセンター	一般廃棄物	なし(大和市扱い)	事務局が大和市との窓口	遵守	遵守	2026年4月1日
2	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 ※指定事業所の設置第3条第1項	柳橋エコセンター	プレス機(油圧式)	設置許可申請 許可証	事務局 事務局	遵守 遵守	遵守 遵守	2026年4月1日
3	騒音規制法 ※事業場から出る騒音—神奈川県条例第32条	柳橋エコセンター	圧縮梱包機	無(規制対象外)	現場	遵守	遵守	
4	振動規制法 ※事業場から出る振動—神奈川県条例第32条	柳橋エコセンター	圧縮梱包機	無(規制対象外)	現場	遵守	遵守	
5	自動車NOX・PM法 ※第1章 第4条 規制該当車両の使用禁止 第12条	柳橋エコセンター 資源選別所 柳橋エコセンター 資源選別所	公用車 公用車、バックカー車、軽トラック フォークリフト フォークリフト	車検証 車検証・定期点検記録簿 定期点検記録簿 定期点検記録簿	事務局 事務局及び運行管理者 整備管理者 整備管理者	遵守 遵守 遵守 遵守	遵守 遵守 遵守 遵守	2026年4月1日
6	オフロード法 ※基準適合車両の使用	柳橋エコセンター 資源選別所	フォークリフト フォークリフト	基準適合表示車 基準適合表示車	事務局、整備管理者 事務局、整備管理者	遵守 遵守	遵守 遵守	2026年4月1日
7	フロン排出抑制法 ※3ヶ月に1回簡易点検を実施	柳橋エコセンター 資源選別所 受入	業務用エアコン、スポットクーラー 業務用エアコン、スポットクーラー 業務用エアコン、スポットクーラー	点検記録を3年間保管 点検記録を3年間保管 点検記録を3年間保管	環境推進委員 環境推進委員 環境推進委員	遵守 遵守 遵守	遵守 遵守 遵守	2026年4月1日
8	自動車リサイクル法 ※使用済みとなった自動車を引取業者に引渡すこと(H8) ※リサイクル費用を資金管理人に対し預託すること(H73) ※管理表交付は不要(H122・14)	柳橋エコセンター 資源選別所	公用車 公用車、バックカー車、軽トラック	車検証 車検証	事務局 事務局	遵守 遵守	遵守 遵守	2026年4月1日
9	グリーン購入法 ※19分類 266品目に該当	柳橋エコセンター 資源選別所	グリーン購入法対象事務用品	無	事務局	遵守	遵守	2026年4月1日
10	消防法 ※消防法第17条および消防法施行規則第31条の3	柳橋エコセンター	工場棟 自動火災報知設備 消火器具 事務棟 避難器具(援降機) 誘導灯 消火器具	消防用設備等検査済証・事業場 消防用設備等検査済証・工場 消防用設備等着工届出書 防火対象物使用開始届出書	事務局	遵守	遵守	2026年4月1日
11	大和市火災予防条例 ※大和市火災予防条例43条および大和市火災予防規則第20条	柳橋エコセンター	工場棟 自動火災報知設備 消火器具 事務棟 避難器具(援降機) 誘導灯 消火器具 工場棟キュービクル	防火対象物使用開始届出書 電気設備設置届出書	事務局 事務局	遵守 遵守	遵守 遵守	2026年4月1日
12	容器包装リサイクル法 ※容器包装廃棄物の分別収集に関する省令 第2条	資源選別所	施設全体	大和市との契約書	理事長	遵守	遵守	2026年4月1日
13	道路交通法	組合全体	組合登録トラック、バックカー車、軽トラック、公用車	各自免許証を組合、運行管理責任者に提出、事業用自動車運転手には国土交通省指し	運行管理者	遵守	遵守	2026年4月1日

※評価は「現状の取り組みのままでも今後も違法性を保つ事ができるかどうか」を評価する

⑨代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果

	⑨代表者による全体の評価と見直し 結果報告書	作成月日	作成者
		2026年6月1日	小野寺
見直し対象期間	2025年4月1日～2026年3月31日		
見直し実施月日	2025/6/1(定期臨時)		
出席者	理事長 小俣一之 環境管理責任者 小野寺		
提出資料名	①環境経営目標の達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの環境に関する苦情や要望 (地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要請等も含む) ⑤その他(法規制の動向の情報など)		
見直し結果	①環境経営方針の変更の必要性 (有り・無し) 改善担当者:小野寺 期限: ②環境経営目標の変更の必要性 (有り・無し) 改善担当者:小野寺 期限: ③環境経営計画の変更の必要性 (有り・無し) 改善担当者:小野寺 期限: ④環境経営システム等の変更の必要性 (有り・無し) 改善担当者:小野寺 期限:		
総括	①前回の指示への取組結果 ・リサイクル未来館閉館後の受入施設の取り組み内容についての見直し →データ管理できる「紙使用量の削減」のみ環境経営目標管理を行い、廃棄物排出量の削減については、環境活動の取り組みとして実施した。 ・柳橋エコセンターの省エネタイプの圧縮梱包機導入後の電力使用量について管理の見直し →予測通り、前年度実績から約7,000kWh削減した。前年度比9%減を達成。 今年度から毎月データを確認し、ミーティング等で報告を実施した。 ・フォークリフト安全運転講習実施の継続 →組合では2社のフォークリフトを導入しており、今年度は前年度と異なる2社目のメーカーから講師を招聘し、安全運転講習を実施した。今後も継続する。 ②今回の評価結果及び指示内容等 ・環境経営目標の見直し 環境経営目標の見直しを実施。基準年度を昨年度2024年度とし、中期目標は基準年度を上回らないよう3年間目標を継続することにした。 また、年度目標は前年度実績とし、減少は○、同量は△、増加は×で評価とすることにした。 ・対象事業所 柳橋エコセンターの電気使用量削減の取り組み 省エネタイプの圧縮梱包機へ入れ替えを実施した結果、電気使用量の削減を達成することができた。 今後は省エネ効果をさらに上げるために、機械の日常清掃やメンテナンスの実施、稼働条件の見直しに取組むよう指示をした。 ・対象事業所 柳橋エコセンターの燃料(ガソリン)削減の取り組み 2025年11月に公用車の入れ替えを実施し、環境性能の優れた車種となった。 アイドリングストップ機能による低燃費、ハイブリット機能による燃費向上が見込まれるため、エコドライブの推進を心掛ける。 理事長が公務に使用することになり、燃料使用量が多くなったが、まずは毎月の現状を把握し、燃料削減の環境活動の取り組みを実践するよう指示をした。		